

地域づくりにおける高校生との 連携・協働事例 ～会津銀山街道「道普請」～

県では、将来の地域の担い手である子ども等を主役とした地域づくりを行う必要があると考えており、学校や子ども会等と連携して子どもが参画する地域づくりを推進しています。その事例として、今年度、高校生と連携・協働した活動についてご紹介します。

今回の取組は、県立川口高等学校が進めるコミュニティ・スクール推進事業と、地域づくり団体等が実施している旧街道での道普請活動とが連携する初めての試みでした。この活動は、高校生と地域住民との交流のきっかけとなったことや、高校生による地域の歴史への気づきがあったこと等が収穫となりました。中には、「学校の伝統行事になるといい!」と感じた高校生もいたようです。

道普請活動を続ける『銀山街道を活用して地域を元気にする会』からは、「次代を担う若者に地域活性化の活動（道普請）の現場を知ってもらう意義は大きい」との好意的な感想が寄せられています。

参加した高校生、学校関係者、地域づくり団体それぞれが取組の継続を希望しており、1つの地域づくりや道普請を学ぶ場として大変有意義な取組となりました。

【事例】

＜内 容＞会津銀山街道における道普請（三島町間方～昭和村野尻地内）
（木橋の修繕、ベンチ、粗朶柵、丸太列柱の設置、土側溝整備）

＜参加者＞県立川口高等学校25名、銀山街道を活用して地域を元気にする会
4名、Change! どぼく実行委員会、金山町、昭和村、県等 計51名



▲現場で使用する道具や資材も運搬しました。



▲雨や山水でみちがぬかるんだり、洗掘されないための土側溝整備。



◀女子生徒も掛矢を使ってくい打ちを行いました。

▶沢に架かる橋の修繕作業。



◀地元の方に道具の使い方や作業のコツを教わりながら作業しています。

📁 取り組みを実施して 📁

【川口高校】

- ・初めての取組であり目に見える効果は、はっきりとわからないが、生徒同士の関係性が深まったり、物を作る充実感が得られたのではないかと。
- ・精神的にポジティブ思考になったように思う。
- ・人間的に逞しくなったように感じる。

＜高校生の反応＞

- ・地域の方との交流により地域の歴史など気づきがあった。刺激になった。
- ・チームビルディングを通し、友達との関係性が向上した。
- ・学校の伝統行事になると良い。
- ・道路を作ることの大変さを知った。建設業界に興味を持った。

【学校運営協議会】

- ・道普請の活動が、地域の歴史や人との関わりなど、コミュニティ・スクール推進事業と合致すると考え、連携を会津若松建設事務所と川口高校に提案した。
- ・今後の地域との繋がりとしていきっかけになった。
- ・可能であれば今後も継続したい。

【銀山街道を活用して地域を元気にする会】

- ・次代を担う若者に現地を知ってもらおう意義は大きい。
- ・情報の広がり期待できる。
- ・道普請を通して、地域を理解し、興味を持ち、地域の一員になる可能性がある。
- ・今後も継続したい。伝統行事となればもっとすごい。

📎 編集後記 📎

今回は、地域づくりにおける高校生との連携・協働事例を紹介しました。参加者の意見等により、初めての取組で目に見える効果は出ていないものの、今後の継続した取り組みによる地域交流や活性化が期待できます。今回の取組を継続して、地域活性化に寄与できれば幸いです。引き続き、子どもたちが参画する地域づくりに取り組んでまいります。

土木部メールマガジン登録随時受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、下記により登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>) からご覧いただけます。

メールマガジン(無料)の配信をご希望される方は

【土木部メルマガ希望または、解除】
をお書きのうえ下記アドレスまで
メール送信して下さい。



doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp
土木企画課(システム担当) 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>